

インフルエンザ・寒波・大雪警報・・・

3学期に入って本校ではインフルエンザが流行し、先週から今週初めにかけて3クラスを学級閉鎖措置としました。島根県薬事衛生課の発表によると、1月25日現在の累計患者数は2,727人で、昨年の1,328人、一昨年の224人に比べ増加しており、あわせて学級閉鎖等の措置を行った幼稚園・小中学校高校等も延べ230施設と、昨年の93施設、一昨年の18施設を大きく上回っており、今年のインフルエンザが早い時期から流行しているということが分かります。本校はこれまで37名が罹患し、現在は4名が出席停止で、少し落ち着いた状況になっています。3年生での罹患が最も多く、インフルエンザで出席停止となった生徒の4割以上を3年生が占めています。

2年生はスキー研修、全校での松農発表会、1・2年生の学年末試験、部活動ではサッカー部が新人戦、バレーボール部とバスケットボール部が中国大会と大きな大会を控えていますので、引き続き石けんで手洗い、咳エチケット、適切な湿度、早めの受診などでインフルエンザ予防を行っていきます。もしインフルエンザに罹患したら学校保健安全施行規則で「発症後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで」が出席停止の期間とされていますので、主治医の指示に従い登校及び外出を控え、療養してください。

そして、インフルエンザとは別の対策も必要となってきました。3学期始業式翌日あたりから寒波襲来、今週も数年に一度の寒波が日本列島を襲い、東日本では大変な積雪や低温・凍結で生活が混乱しているところもあるようです。今回の寒波は長引いており、今日も松江市では5センチ程度の積雪がありました。この2度の寒波により、大雪警報等の注意情報が発令され、公共交通機関が不通になる恐れがあり安全に登校できないと判断した2日間を本校は臨時休校としました。本校は、安来市、雲南市などからJRを利用して通学する生徒が約110名、JR木次線利用者が約40名、平田・湖北・鹿島・美保関などから一畑電車やバスを利用する生徒が約20名、そして200名を超える生徒が自転車で登校しているという状況です。自宅から最寄りの駅まで行くのが大変な人、車で送ってもらうにしても自転車や徒歩で通学するにしても、積雪や路面凍結で交通障害が起きやすい状況になるだろうと判断しての臨時休校でした。

特に3年生は学年末試験という時期でしたので、この時期にインフルエンザで学級閉鎖が生物生産科と環境土木科の2クラス、おまけに2日の臨時休校となり、試験の実施とインフルエンザの蔓延防止、寒波対策が重なり、試験の日程を変更して実施するという異例の対応をとることとなりました。計画した授業が実施できず、教員も以降の対策に悩みましたが、何とかこの危機を乗り越えるように対応していただきました。

また今週はこの寒波の中、平成30年度公立高校入学者推薦選抜も行われ、3学科合わせて64名程度募集のところ、76名の中学生が志願してくれ、1月23日に面接を実施し、本日合格内定通知を行いました。

今学校は、3年生は卒業や新生活に向けての準備、1・2年生は進級、次年度にむけての準備が忙しい時期でもありますが、新入生を迎えるための準備も着々に行っているところです。本校が、学んだことを発表する、課題研究・プロジェクト学習の集大成として発表するといった「松農発表会」を例年2月の第2土曜日に実施しています。今年度は2月10日(土)に島根県民会館で行い、その準備として2回目の発表者事前研修会を本日行いました。これは昨年から始めたものですが、司会進行、発表者等松農発表会で中心となって運営、発表する生徒に対し、プロのアナウンサーから話し方・発表の方法を学ぼうというものです。昨年に引き続き、株式会社ちいきおこし取締役で元アナウンサーの河野美知様に講師をお願いし実施しています。今日は2年生の発表者を対象に、『発表のスキルを向上させ、聴衆にとってわかりやすい発表ができるよう表現方法を磨く』という目的で行いました。1月16日(火)には発表会の司会進行役の生徒を対象に実施し、1月30日(火)には3年生発表者を対象に同様の研修会を行うよう計画しています。

「松農発表会」では発表の内容だけでなく、司会・進行役生徒のアナウンス技術、生徒会・農業クラブ・家庭クラブ新役員による発表会の運営、そして発表者の発表技能などもあわせてご覧いただきますようお願いいたします。